

能登半島地震 復興支援ニュース

発行：全国生協災害対策本部

編集：日本生協連渉外広報本部

アドレス: pr@jccu.coop

2024年2月9日発行 NO.12

CO-OP



せいきょうから、あしたへ

◆支援メンバーの活動や、被災地支援の取り組みの様子を発信しています◆

コープ福祉機構※より会員生協・法人へ介護職員の派遣要請を行いました。 先行して2月10日より2名の職員が現地入りします。

※一般社団法人 全国コープ福祉事業連帯機構。生協と、生協を母体に設立された社会福祉法人が設立し参加する、事業支援団体です。

コープ福祉機構は、石川県生協連（金沢市）からの要請を受け、介護職員の派遣支援を2月13日から開始します。被災地では、高齢者の健康状態や介護度の悪化防止と災害関連死を減らすために専門性を有した介護職員によるケアが求められており、これを支援するものです。派遣支援期間は2月13日から3月1日の予定で、開始に先立ち2月10日より富山医療生協を母体とする「社会福祉法人とやま虹の会」の介護職員2名を派遣し、先行して支援活動を行う予定です。専門職である介護職員の派遣にあたっては、コープ福祉機構より会員生協・社員法人及び医療福祉生協連への支援要請を行い、協力して対応を進めます。



2月10日より先行して
支援活動を行う「とやま虹の会」
の介護職員のお二人です。

ユーコープの職員が、宅配の同乗支援を行った際の報告をご紹介します。
*写真は七尾市内の被災の様子です。

co-op



<1月31日(水)>支援メンバーレポートより

配送担当者の同乗支援を行いました。今日の地域は、家屋の損害は少ないもののライフラインは停止しています。未だ水道の復旧はできておらず、飲み水はもちろん、トイレやお風呂の水も確保できず、車で30分程度の学校跡地まで行き、水の配給を受けているそうです。近隣のお店も閉鎖しているため、車で移動ができない高齢の世帯は、コープの宅配が命綱だと、何度も感謝の言葉をいただきました。しずおかから支援に来ていることを伝えると、「全国から色々な方が石川県を助けに来てくれていることが本当にありがたい」とおっしゃってくださいました。

高齢の方は家の外にも出られないため、近隣の状況がわからず、コープの配送担当者との会話で周囲の状況を知ることができるそう。周囲の状況をお話することで、不安を解消されているようにも見え、コープの配送担当者が被災者の心の支えになっているのだと感じました。